

－ 令和5(2023)年度版 －

第3次上尾市図書館サービス計画 事業計画及び進捗状況報告書

【計画期間:令和3年度～令和7年度】

上尾市教育委員会教育総務部図書館

－ 報告書の構成・評価について －

本報告書は、『第3次上尾市図書館サービス計画』の「第4章 計画の推進体制」に則って、計画の進捗を管理し、図書館の運営状況の評価を行うものです。

評価の内容は、『図書館の設置及び運営上の望ましい基準』（平成24年12月19日文科科学省告示第172号）に基づき、自らの点検及び評価と、第三者による評価を実施します。

(1) 報告書の構成

本報告書は、「進捗管理一覧表」と「進捗管理シート」で構成しています。

① 進捗管理一覧表

基本方針ごとにサービス計画項目の自己点検評価の結果を一覧表示し、基本方針別の達成水準を示します。また、図書館協議会による第三者評価実施後は、その内容について掲載します。

② 進捗管理シート

サービス計画項目（30項目）の年度ごとの事業計画概要を掲載するとともに、自己点検評価後はその実施状況、分析の結果についても掲載します。また、各計画項目の計画期間内での達成水準（進捗率）を示します。

(2) 自己評価の基準

自己点検評価については、実施状況と分析の結果を5段階で評価します。この値を百分率に置き換えたものを積み上げ、計画期間内（5年間）におけるサービス計画項目の達成水準としています。

【評価基準（5段階）】

- | | |
|----|---------------------------------|
| 4： | 計画通りに実施し、期待通りの効果が得られた。 |
| 3： | 計画の一部変更により実施し、概ね期待通りの効果は得られた。 |
| 2： | 計画通り又は一部変更により実施し、効果が期待値を下回る。 |
| 1： | 計画通り又は一部変更により実施し、効果が期待値を大幅に下回る。 |
| 0： | 未実施又は実施不能により、効果が得られない。 |

第3次上尾市図書館サービス計画 進捗管理一覧

基本方針Ⅰ 図書館の基本機能の充実										
項目		自己点検評価の結果							計	頁
		計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7			
1.1.	図書館資料の収集等	35.0%	3	4	0	0	0	7	1	
1.2.	図書館資料の組織化	30.0%	3	3	0	0	0	6	2	
1.3.	貸出	40.0%	4	4	0	0	0	8	3	
1.4.	閲覧	35.0%	4	3	0	0	0	7	4	
1.5.	予約・リクエスト	25.0%	1	4	0	0	0	5	5	
1.6.	複写	35.0%	4	3	0	0	0	7	6	
1.7.	行政関係	25.0%	1	4	0	0	0	5	7	
—	基本方針Ⅰ全体	32.1%	20	25	0	0	0	45		
総合評価(第三者評価)										
令和4年度	全体の達成水準は32.1%であり、計画全体からみるとやや低い結果であるが、閲覧環境の充実(計画項目1.4)のため書架の照明改善を図った結果、館内の快適さにおいて、モニタリング結果で「満足・ほぼ満足」が6割以上を占めたこと、またリクエスト制度の周知(同1.5)等により、予約・リクエスト利用状況が増加していることは評価できる。今後は電子書籍のさらなる認知度UPなど、SDGsに配慮した取り組みを一層推進するよう期待する。									


基本方針Ⅱ 多様なニーズに応えるサービスの提供										
項目		自己点検評価の結果							計	頁
		計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7			
2.1.	レファレンスサービス	35.0%	4	3	0	0	0	7	8	
2.2.	レフェラルサービス	25.0%	2	3	0	0	0	5	9	
2.3.	情報検索サービス等	30.0%	2	4	0	0	0	6	10	
2.4.	ビジネス支援	35.0%	3	4	0	0	0	7	11	
2.5.	子育て・教育	35.0%	3	4	0	0	0	7	12	
2.6.	健康・医療、福祉	25.0%	1	4	0	0	0	5	13	
2.7.	法律・司法手続き	35.0%	3	4	0	0	0	7	14	
2.8.	高齢者サービス	30.0%	3	3	0	0	0	6	15	
2.9.	障害者サービス	25.0%	1	4	0	0	0	5	16	
2.10.	多文化サービス	40.0%	4	4	0	0	0	8	17	
—	基本方針Ⅱ全体	31.5%	26	37	0	0	0	63		
総合評価(第三者評価)										
令和4年度	全体の達成水準としては31.5%であるが、今年度に限れば、多くの項目で評価が上昇している。レファレンスサービス(計画項目2.1)については目標としていたPR回数には達しなかったが、アウトプットとしての利用件数からは達成していると判断できる。また、障害者サービス(同2.9)、多文化サービス(同2.10)については特に声が届きにくい層であることから、ニーズの把握とともに周知及び充実の施策が求められる。引き続き丁寧に取り組みたい。									

第3次上尾市図書館サービス計画 進捗管理一覧

基本方針Ⅲ 市民の学びと活動の支援									
項目	自己点検評価の結果							計	頁
	計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7			
3.1. 乳幼児・保護者サービス	35.0%	3	4	0	0	0	7	18	
3.2. 児童サービス	40.0%	4	4	0	0	0	8	19	
3.3. 青少年サービス	40.0%	4	4	0	0	0	8	20	
3.4. 子供の読書活動支援	30.0%	3	3	0	0	0	6	21	
3.5. 若者の自立支援	25.0%	1	4	0	0	0	5	22	
3.6. 学習活動の支援	40.0%	4	4	0	0	0	8	23	
3.7. 情報活用能力向上支援	40.0%	4	4	0	0	0	8	24	
3.8. ボランティア活動支援	25.0%	3	2	0	0	0	5	25	
－ 基本方針Ⅲ全体	34.4%	26	29	0	0	0	55		
総合評価(第三者評価)									
令和4年度	全体の達成水準は34.4%であり、計画全体の平均を上回る結果となった。特に児童サービス(計画項目3.2)における読書パスポートの事業は今後上尾市が「子どもの読書活動」を推進する上での礎であることから、地域・学校と連携し一層の充実を期待するものである。また、青少年向けの電子書籍の収集、中高校生に向けたイベントの開催など、年齢が上がっても読書離れを食い止める仕掛けをさらに展開されたい。								

基本方針Ⅳ 時代に合わせた環境整備									
項目	自己点検評価の結果							計	頁
	計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7			
4.1. 学習活動環境の整備	30.0%	3	3	0	0	0	6	26	
4.2. 運営	30.0%	3	3	0	0	0	6	27	
4.3. 職員体制	40.0%	4	4	0	0	0	8	28	
4.4. 施設・設備	40.0%	4	4	0	0	0	8	29	
4.5. 安全管理	40.0%	4	4	0	0	0	8	30	
－ 基本方針Ⅳ全体	36.0%	18	18	0	0	0	36		
総合評価(第三者評価)									
令和4年度	全体の達成水準は36%と計画全体の平均を上回っており、全項目においておおむね計画通りに実施できている。学習スペースのリニューアルや新たなスタイルの座席の設置(計画項目4.1)、ICT設備の導入としてデジタルサイネージの獲得に繋がったことは(同4.2)、今までにない空間づくりの創出として評価に値する。また、図書館の大きな取り組みの一つである本館の更新方針の策定に当たっては、図書館利用者の意見に留まらず、学校施設更新計画など多角的な視点を取り入れようとする姿勢は評価できる。(同4.4)。								

第3次上尾市図書館サービス計画全体									
項目	自己点検評価全体の結果							計	頁
	計画項目別達成水準	R3	R4	R5	R6	R7			
基本方針全体	33.2%	90	109	0	0	0	199		
総合評価(第三者評価)									
令和4年度	全体の達成水準は33.2%であったが、今年度は多くの項目で評価が上がり、前年度を上回る結果を出した。特に「基本方針Ⅱ 多様なニーズに応えるサービスの提供」において「健康・医療、福祉」「高齢者」への新しい取り組みは、図書館利用者層のニーズを捉えたものと評価する。これらの充実とともに、市民意識調査及び先進都市の事例を研究し、図書館を利用していない市民の利用促進に繋がる施策の展開を期待する。								

基本方針 I	図書館の基本機能の充実	計画項目別達成水準	
計画項目	1.1. 図書館資料の収集等	35.0% (7/20)	 0% 50% 100%

方向性	図書館資料の収集は、予算やスペースの制約を考慮し、社会情勢や利用者のニーズと資料的価値との均衡を図りながら、資料収集方針等の見直しも選択肢として中長期的・計画的かつ各館の特徴にも配慮した蔵書構築を行います。また、郷土資料や地方行政資料については、地域情報の拠点という役割を果たすべく、市の関係部署や地域の関係機関、その他団体と連携を強化して体系的な仕組みを構築し、独自性のある地域情報を積極的に収集・保存します。
------------	--

事業計画の概要	自己点検評価
令和3年度 (1) 優先順位順の電子書籍購入 主な手段：各分類の蔵書構成、読者層などを想定し、電子書籍の購入をする。 目標：優先順位順の分析	定期的に予約ランキング・貸出ランキングをシステムから抽出し、人気のあるジャンルを分析して多く購入した。併せて図書館に足を運ぶ時間が取りにくいと考えられる読者層を想定し、レシビ本、ビジネス本、自己啓発本、青少年向け図書などを意識して購入した。 計画どおり実行。モニタリング結果から、小説・エッセイ、実用書を電子図書館で求められていることが判明（希望ジャンルの割合の6割弱）。上記2ジャンルは意識して多く購入していく。
	3 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和4年度 (1) 優先順位順の電子書籍購入【継続】 主な手段：各分類の蔵書構成、読者層などを想定し、電子書籍の購入をする。 目標：分析及び利用者モニタリング結果をもとに購入 (2) 学校支援のための図書の収集 主な手段：「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」を図書館に設置、希望校に配本する。 目標：30冊×18セット	(1)電子書籍について、利用率や要望が高かった順に①小説・エッセイ(執行額の27.2%)、②くらし・すまい、料理(同20.7%)の資料を優先的に購入。 (2)「スミイ」「ごんぎつね」等3タイトル各6セットを図書館に設置及び希望する小学校に配本した。 (1)要望が高い資料を優先的に購入。次年度以降、利用が見込まれる青少年層を中心に資料を充実するとともに積極的にPRを図る。 (2)計画どおりに実行。学校からのアンケート結果は概ね良好であったことから継続して取り組む必要がある。
	4 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和5年度 (1) 優先順位順の電子書籍購入【継続】 主な手段：電子書籍の利用が見込まれる青少年層をターゲットとした電子書籍の充実と周知を図る。 目標：電子書籍全体の1割 (2) 郷土資料のデジタル化 主な手段：「上尾市史」等の郷土資料をデジタル化し、上尾市電子図書館内に掲載する。 目標：6月末までに始動	実施状況 分析
	0 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和6年度	実施状況 分析
	0 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和7年度	実施状況 分析
	0 / 4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針 I	図書館の基本機能の充実	計画項目別達成水準	
計画項目	1.2. 図書館資料の組織化	30.0% (6/20)	

方向性	図書館資料の分類・目録作業は、『日本十進分類法（NDC）』や『日本目録規則（NCR）』等の最新情報に留意し、利用者の利便性向上に最も有効と考えられる基準を用いて書誌情報を最新に保つとともに、資料の扱いやすさや利用のしやすさに配慮した装備や排架を行います。また、図書館の資料保存機能に留意しつつ、除籍及び廃棄を適切に実施して書架表示にも配慮するなど利用者に分かりやすい書架の管理を行います。
------------	--

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 利用者が本を検索しやすい装備や排架 主な手段 ：利用者の利便性向上に最も有効と考えられる基準を用いる。 目標 ：セカンドライフコーナーに排架する本の装備、書架表示の変更	実施状況 コーナーに配置する本の背表紙シールを金色から緑色に変え、若々しいイメージにした。表示を新しくし、遠くからでもよくわかるようにした。	3/4
	分析 計画どおりに実行。利用者の目につきやすくなり、セカンドライフコーナーの本を手にとってもらう機会が増えた。令和3年度受入れた資料が、6月1日現在セカンドライフコーナーの利用率が昨年度比の95%を超えている。コーナーの周知を含め、検討していく。		


事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) NDC第10版の分類に応じた排架の見直し 主な手段 ：分館の書架排架の見直しをする。 目標 ：蔵書整理期間・蔵書点検期間を利用して1分館を集中的に排架変更する。	実施状況 (1)瓦葺分館について、0分類から9分類まで資料を並び直し、利用者にとって分かりやすい排架に変更した。 (2)モニタリング実施に代わりセカンドライフコーナーの利用状況を踏まえた選書を行い、閲覧及び利用しやすい環境を整備した。	3/4
	(2) 別置特設コーナーのリニューアル 主な手段 ：利用者に関覧・利用しやすくするため、モニタリング結果等を踏まえセカンドライフコーナーの再検討を行う。 目標 ：上半期までに結論	分析 (1)計画どおりに排架し直すことで環境を整備した。引き続き、分館・公民館図書室の排架状況の改善を図る。 (2)セカンドライフコーナーの魅力ある排架に向け、引き続きニーズを把握し、適宜リニューアルを実施していく。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) NDC第10版の分類に応じた排架の見直し【継続】 主な手段 ：分館の書架排架の見直しをする。 目標 ：図書整理期間・蔵書点検期間を利用して1分館を集中的に排架変更する。	実施状況	0/4
	(2) 読書バリアフリーコーナーへの資料の排架 主な手段 ：新設する「本館読書バリアフリーコーナー」に排架する資料を選別し、従来のNDC分類による排架との差別化を図る。 目標 ：上半期までに実施	分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況	0/4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況	0/4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針 I	図書館の基本機能の充実	計画項目別達成水準	
		40.0% (8/20)	 0% 50% 100%
計画項目	1.3. 貸出		

方向性	利用者の資料要求に対し迅速に提供できる体制を構築するとともに、相互貸借を含めて他の公立図書館等との連携強化を図ります。また、自動貸出機・自動返却機などICT設備の導入を含め、利用者にとって効率的で利便性の高い貸出・返却方法について調査・研究を進めるほか、非来館型サービスとして有望な電子書籍を導入します。
------------	--

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 電子図書館サービスの開始 主な手段：電子書籍を活用したサービスを導入し、非来館型サービスを充実を図る。また、他サービスの強化にもつなげる。 目標：年度内のサービス開始	実施状況 (1)電子図書館サービスは、令和3年9月1日に開始。年度末実績は、新規利用者が1,198名、貸出数が7,621タイトルであった。 (2)書籍消毒器は、令和3年7月上旬迄に9館全てに設置を完了した。年度末迄の利用回数は、全館合わせて7,912回であった。	4 / 4
	(2) 書籍消毒器の設置 主な手段：本館及び分館（室）に書籍消毒器を設置し、コロナ禍における貸出の安全性を高める。 目標：9館全館への設置	分析 (1)計画通り実行。モニタリング結果から、利用したことがない人が8割を超え、また制度を知らないと答えた人は約4割であった。制度の周知が求められる。 (2)計画通り設置。利用者数の差に伴い、各館での利用回数にも差があるため引き続き周知を行う。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 電子図書館サービスの拡充 主な手段：非来館型サービスを充実するため、電子図書館サービスを継続する。 目標：前年度比500点増	実施状況 (1)電子書籍は、前年度より641点増加。 (2)『広報あげお』『みんなの図書館』で各1回、Twitterで4回周知を図るとともに、その他デジタルサイネージや自動販売機等の広告を活用し発信を行った。	4 / 4
	(2) 電子図書館サービスの周知 主な手段：利用を促進するため広く市民の目に触れる媒体で周知する。 目標：『広報あげお』等に年間3回掲載	分析 (1)令和5年度は期限付き資料約520点の減少が見込まれるが、利用の要望に応えるため閲覧可能タイトル数を維持する。 (2)利用促進のため、『広報あげお』のほか、様々な媒体で周知を行った。今後、利用継続に結びつくような施策の展開が必要である。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) 電子図書館サービスの拡充【継続】 主な手段：非来館型サービスを充実するため、電子図書館サービスを継続する。なお、令和3年度に受入した資料など約520点の資料が利用期限を迎えるが、利用者の要望に応えるために、閲覧可能タイトル数の増加を維持する。 目標：前年度比50点増	実施状況	0 / 4
	(2) 魅力ある特集展示 主な手段：魅力ある特集展示コーナーを作り、貸出数向上を図る。 目標：展示資料の展示効果率（展示期間中の貸出率/貸出前の貸出率）の向上	分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況	0 / 4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況	0 / 4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針 I	図書館の基本機能の充実	計画項目別達成水準	
計画項目	1.4. 閲覧	35.0% (7/20)	

方向性	館内での図書館資料の利用に必要な閲覧席その他設備について、レイアウトの変更なども含め、工夫しながら確保・充実に努めます。また、図書館資料を活用した生涯学習やグループワークなどに利用できるスペース等を確保します。
------------	---

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 新聞コーナーの刷新 主な手段 ：本館新聞コーナーの適切な配置を検討し、ソファ修繕も対応する。 目標 ：年度内の実施	実施状況 採光の良い2階階段上のコーナーに配置し、座席数を増やした。また、新聞棚を新調し、閲覧用のソファ席の張替を行った。	4 / 4
		分析 計画どおり実行。モニタリング結果から閲覧席の数や質(快適さ)の満足度は、満足・ほぼ満足が全体では、約4割であり、本館では、約1割であった。引き続き、満足度を上げる必要がある。	


事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 書架の照明改善 主な手段 ：本館2階書架部分の照明を、順次蛍光灯からLED照明に変え資料の閲覧環境を向上させていく。 目標 ：書架のLED化率前年度比10%向上	実施状況 (1)書架の吹抜照明6基24本、集会室の照明8本をLEDに変更。(2)分館書架については各館2回ずつ作業を実施。課題点を把握し、瓦葺分館については大規模なレイアウトの変更を行った。	3 / 4
	(2) 分館書架の資料のリフレッシュ 主な手段 ：分館の棚の引き抜き・排架と表示等の改善 目標 ：各分館2回以上	分析 (1)書架のLED化は照度の低い集会室を優先したため、10%の目標未達。今後、開架部分に対し32本以上の交換を目指す。 (2)計画どおりに実行。次年度は、排架状況に課題のある上平公民館図書室について改善を行う。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) 書架の照明改善【継続】 主な手段 ：本館2階書架部分の照明を、順次蛍光灯からLED照明に変え資料の閲覧環境を向上させていく。 目標 ：書架のLED化率前年度比10%向上	実施状況	0 / 4
	(2) 開架の備品汚破損改善 主な手段 ：開架部分の椅子等について、汚破損の著しいものを買替えずにはカバー購入や補修などで状態改善する。 目標 ：3物品以上について実施	分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況	0 / 4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況	0 / 4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針 I	図書館の基本機能の充実	計画項目別達成水準	
計画項目	1.5. 予約・リクエスト	25.0% (5/20)	 0% 50% 100%

方向性	Web予約の推進を一層進めるなど、利用者にとって安心して利便性の高い予約・リクエストの手法を検討します。また、利用者の多様な資料要求に応えるため、他の図書館や類縁機関等とのさらなる連携強化を図ります。
------------	--

事業計画の概要	自己点検評価		
令和3年度	(1) リクエスト方法の方向性の決定 主な手段 ：他市を調査し、利用者に利便性が高く、正確な処理の行える、当面の予約・リクエスト方法を決定する。 目標 ：方向性の決定	実施状況 利用者からの要望の多い未所蔵本のWeb予約については購入検討や相互貸借、本の提案などを必要とし、これらの対応が現システムでは不可能なことが判明。本のセット予約(上下巻やシリーズ物の資料などを優先順に用意する予約方法)について、検討したが結論には至らなかった。	1 / 4
	分	本のセット予約については現システムでの対応を含め、次年度検討をする。	
	析		

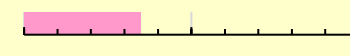
事業計画の概要	自己点検評価		
令和4年度	(1) リクエスト制度の周知 主な手段 ：年度内に『広報あげお』『みんなの図書館』に周知記事を掲載する。 目標 ：年度内2回掲載	実施状況 (1)『広報あげお』『みんなの図書館』に各1回、周知記事を掲載した。 (2)検討の結果、セット予約の実施に向け、令和5年度事業計画の目標とした。	4 / 4
	(2) 予約・リクエストの利便性の向上 主な手段 ：本のセット予約等、システムで対応できる機能について検討する。 目標 ：10月までに、検討結果をまとめる。	分 (1)リクエスト制度のPRにより統計数値が増加していることから、予約・リクエストの未利用者にも認知が高まり利用を促進したと推測される。 (2)本のセット予約は導入に課題があるが、利用者の利便性の向上のため、継続目標として対応する。	
	析		

事業計画の概要	自己点検評価		
令和5年度	(1) 予約・リクエストの利便性の向上【継続】 主な手段 ：本のセット（上下巻やシリーズ物の資料などを優先順に用意する予約方法）について、システムで対応する。 目標 ：10月末まで実施	実施状況	0 / 4
	(2) リクエストカードのフォーマットの作成 主な手段 ：ホームページにリクエストカードのプリンター出力用フォーマットを作成し、出力できるようにする。 目標 ：6月までに、実施	分	
	析		

事業計画の概要	自己点検評価		
令和6年度		実施状況	0 / 4
		分	
		析	

事業計画の概要	自己点検評価		
令和7年度		実施状況	0 / 4
		分	
		析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針 I	図書館の基本機能の充実	計画項目別達成水準	
		35.0% (7/20)	 0% 50% 100%
計画項目	1.6. 複写		

方向性	『著作権法』に則り、適切な複写サービスの運用が可能となるよう職員の知識・技能を高めるとともに、講座の開催や館内掲示など利用案内を強化するなど周知を図ります。また、複写機を含めた利用環境について、利用者の使い勝手や満足度の把握を行い、利便性の向上策について検討を進めます。
------------	---

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 著作権研修会への参加 主な手段: 『著作権法』に関する研修会に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 目標: 県主催の『著作権関係研修会』に参加	実施状況 令和3年11月25日・26日に開催された、文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、その結果を令和4年1月24日、図書館全体会議で共有した。	4 / 4
		分析 計画どおり実行。図書館実務を行う上で、自らが著作権について熟知し、サービスに生かすこと、また利用者からの質問に正確に答えていくことは重要である。講習会に参加した職員の知識を館内で共有したことは意義があったと考える。	

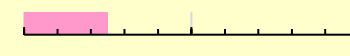
事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 著作権研修会への参加【継続】 主な手段: 著作権法施行令で定める施設に勤務する、著作権法施行規則で定める「司書に相当する職員」を対象とした文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 目標: 「図書館等職員著作権実務講習会」に1名以上参加	実施状況 (1)10月20日に開催された文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、その結果を全体会議で共有した。 (2)複写サービスのうち、メールで提供する公衆送信については、国のガイドライン等の提示がなされず、情報収集のみとなった。	3 / 4
	(2) 複写物送信サービスの検討 主な手段: 郵送で複写物を提供するサービスや、メールで提供するサービスについて検討する。 目標: 年度内に検討結果をまとめる。	分析 (1)研修会への参加は、図書館等の実務に必要な知識を習得するとともに、常に新しい動向を掴むために有効であり、継続して参加すべき。 (2)複写物送信サービスについては国、県からの情報を調査研究し、サービス実施に向けて体制を構築する必要がある。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) 著作権研修会への参加【継続】 主な手段: 著作権法施行令で定める施設に勤務する、著作権法施行規則で定める「司書に相当する職員」を対象とした文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、職員間で情報を共有する。 目標: 「図書館等職員著作権実務講習会」に1名以上参加	実施状況 (1)10月20日に開催された文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、その結果を全体会議で共有した。 (2)複写サービスのうち、メールで提供する公衆送信については、国のガイドライン等の提示がなされず、情報収集のみとなった。	0 / 4
	(2) 複写物送信サービスの検討【継続】 主な手段: 図書館資料のメール送信について、国や県の見解や動向を基に検討する。 目標: 上半期に検討結果をまとめる。	分析 (1)研修会への参加は、図書館等の実務に必要な知識を習得するとともに、常に新しい動向を掴むために有効であり、継続して参加すべき。 (2)複写物送信サービスについては国、県からの情報を調査研究し、サービス実施に向けて体制を構築する必要がある。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況 (1)10月20日に開催された文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、その結果を全体会議で共有した。 (2)複写サービスのうち、メールで提供する公衆送信については、国のガイドライン等の提示がなされず、情報収集のみとなった。	0 / 4
		分析 (1)研修会への参加は、図書館等の実務に必要な知識を習得するとともに、常に新しい動向を掴むために有効であり、継続して参加すべき。 (2)複写物送信サービスについては国、県からの情報を調査研究し、サービス実施に向けて体制を構築する必要がある。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況 (1)10月20日に開催された文化庁主催「図書館等職員著作権実務講習会」に職員を派遣し、その結果を全体会議で共有した。 (2)複写サービスのうち、メールで提供する公衆送信については、国のガイドライン等の提示がなされず、情報収集のみとなった。	0 / 4
		分析 (1)研修会への参加は、図書館等の実務に必要な知識を習得するとともに、常に新しい動向を掴むために有効であり、継続して参加すべき。 (2)複写物送信サービスについては国、県からの情報を調査研究し、サービス実施に向けて体制を構築する必要がある。	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針 I	図書館の基本機能の充実	計画項目別達成水準	
		25.0% (5/20)	 0% 50% 100%
計画項目	1.7. 行政関係		

方向性	市の行政資料や情報は、市民生活に密接に影響するため、市の関係部署との連携体制を構築するなど体系的かつ積極的に収集、提供していきます。また、市の情報はインターネット環境で閲覧可能なものも多いため、情報検索の環境整備やデジタルデバイド解消のための対策も併せて推進します。
------------	---

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 行政関係パンフレットの収集 主な手段：県、市、近隣市町発行・発刊の冊子型の情報誌を収集する。 目標：年度内のデータベース化	実施状況 県、市、近隣市町発行・発刊の冊子型の情報誌を収集し、令和3年度184冊登録した。(令和3年度郷土資料全体の登録数は255冊)	1/4
		分析 行政関係資料の収集はしたが、データベース化はできなかった。モニタリング結果から、郷土資料を増やしてほしいという意見が多かった。新しく収集した行政関係資料を含めた郷土資料の利便性の向上に努める。	

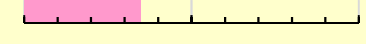
事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 行政関係資料の収集 主な手段：市発行の行政資料で、市民の生活に役立つ冊子体の資料を収集する。 目標：10月までに排架	実施状況 令和4年度は114冊収集し排架。(令和4年度末時点で郷土資料の登録数は176冊)	4/4
		分析 市発行の行政資料を収集した結果、郷土資料登録数のうち市民の生活に役立つ冊子体は6割以上を占めることができた。引き続き関係部署と連携し収集を行う。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) 行政事業等広報資料の排架改善 主な手段：本館館内で配布している行政チラシ等を、利用者に分かりやすいようカテゴリごとに排架する。 目標：5月末までに実施	実施状況	0/4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況	0/4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況	0/4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.1. レファレンスサービス	35.0% (7/20)	 0% 50% 100%

方向性	<p>利用案内や情報提供など、基本的なレファレンスサービスの提供を着実にを行うとともに、サービス自体の周知を徹底することにより活用促進を図ります。また、多様化・複雑化する利用者の情報ニーズに応えるため、レファレンスサービスを今後の図書館の中心的サービスと位置づけ、職員等の技能向上を含めた対応体制を構築します。</p>
------------	---

事業計画の概要	自己点検評価
<p>令和3年度</p> <p>(1) レファレンスデスクの設置 主な手段：外部のレファレンス研修に積極的に参加する。 レファレンスデスクを設置する。 目標：年度内に設置</p>	<p>実施状況</p> <p>国会図書館レファレンス協同データベース事業担当者研修会に1名参加し、担当内で共有した。 令和3年11月から火曜日午前、本館レファレンスデスクに職員を配置した。</p> <p style="text-align: right;">4</p>
	<p>分析</p> <p>計画どおり実行。モニタリング結果からレファレンスデスク開設時の件数は44件であったが、レファレンス件数は令和2年度比82件増である。レファレンスデスクの設置の有効性は不明であるが、レファレンスについての需要は徐々に増えてきていると思われる。</p> <p style="text-align: right;">/4</p>

事業計画の概要	自己点検評価
<p>令和4年度</p> <p>(1) レファレンスデスクの周知・拡充 主な手段：レファレンスデスクの運営を継続し、『広報あげお』や上尾市図書館ホームページで周知を行うことで利用促進を図る。 目標：四半期に1回周知</p> <p>(2) レファレンスブックの収集 主な手段：レファレンス担当者での選書会議を行い、必要な資料について購入する。 目標：前年度比3%増</p>	<p>実施状況</p> <p>(1)『広報あげお』に2回、『みんなの図書館』で1回、またホームページに青少年レファレンスタイムの開催と事業報告の記事を掲載し周知した。 (2)分類担当者、レファレンス担当者の選書会議を経てレファレンスブック110冊を購入し、前年比の3倍弱を達成した。</p> <p style="text-align: right;">3</p>
	<p>分析</p> <p>(1)計画通り拡充。ニーズは高まっており、継続と周知が不可欠である。新たにレファレンスに特化した情報紙を発行し、周知を図る。 (2)多様なレファレンスに対応するため、地理・歴史・医学等、比較的古い資料が多い2分類、4分類に集中してレファレンスブックを購入する。</p> <p style="text-align: right;">/4</p>

事業計画の概要	自己点検評価
<p>令和5年度</p> <p>(1) レファレンスサービスの周知 主な手段：レファレンスサービスの周知のため、『レファレンス通信』を発行し利用促進を図る。 目標：年間2回発行</p> <p>(2) レファレンスブックの収集 主な手段：レファレンスに有益な本を収集する。 目標：2分類、4分類のレファレンスブックの集中的な購入</p>	<p>実施状況</p> <p style="text-align: right;">0</p>
	<p>分析</p> <p style="text-align: right;">/4</p>

事業計画の概要	自己点検評価
<p>令和6年度</p>	<p>実施状況</p> <p style="text-align: right;">0</p>
	<p>分析</p> <p style="text-align: right;">/4</p>

事業計画の概要	自己点検評価
<p>令和7年度</p>	<p>実施状況</p> <p style="text-align: right;">0</p>
	<p>分析</p> <p style="text-align: right;">/4</p>

<p>【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括</p>

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.2. レフェラルサービス	25.0% (5/20)	

方向性	利用者の地域性の高い、あるいは専門性のある情報ニーズに対応できるよう、専門的な機関・団体又は個人の紹介を行うレフェラルサービスを推進します。できるだけ多くのサービスが提供できる体制を構築するために、市の公的専門機関、専門家等との連携強化を図るとともに、SNS等の活用についても検討を進めます。
------------	--

事業計画の概要	自己点検評価	
令和3年度 (1) 専門図書館の把握 主な手段：近隣の類縁機関の収集範囲や動向を把握する。 目標：データベース化	実施状況	近隣の類縁機関の収集範囲や動向を調べた。図書館ホームページの「調べものに役立つリンク集」の内容の見直し、検討を行った。
	分析	計画どおり実行したが、今後も市町村のホームページを研究し、改良を加えていくことが必須と思われる。
		2 /4

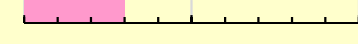
事業計画の概要	自己点検評価	
令和4年度 (1) 専門機関へと調査を繋げるフローチャートの作成 主な手段：目的ごとにどの専門機関を利用すればよいか分かるフローチャートの作成及び利用者への配布、上尾市図書館ホームページへの掲載を行う。 目標：年度内の実施	実施状況	上尾市図書館ホームページ上の「調べものに役立つプラットフォーム」にレフェラルサービスに関するコンテンツを作成し、専門家・専門機関等についてのリンクを掲載した。
	分析	広く周知が必要であることから、『レファレンス通信』の中でレフェラルサービスについて紹介し、周知を図る必要がある。
		3 /4

事業計画の概要	自己点検評価	
令和5年度 (1) レフェラルサービスの周知について 主な手段：『レファレンス通信』に市民が相談できる専門的な機関・団体の紹介を行う。 目標：年間2回掲載	実施状況	
	分析	
		0 /4

事業計画の概要	自己点検評価	
令和6年度	実施状況	
	分析	
		0 /4

事業計画の概要	自己点検評価	
令和7年度	実施状況	
	分析	
		0 /4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.3. 情報検索サービス等	30.0% (6/20)	 0% 50% 100%

方向性	<p>多様化する利用者の情報ニーズに対応できるよう、テーマ別の資料案内の実施や資料検索システム、有用なオンラインデータベースの導入、カレントアウェアネスサービス等利用者支援サービスの有効な活用方法について検討を進めます。また、公衆無線LANの導入など多くの利用者が活用できるネットワーク環境整備について調査・研究を進めるほか、デジタルデバイドの解消策についても講じていきます。</p>
------------	--

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	<p>(1) テーマ別の資料案内の実施 主な手段：調べものに役立つプラットフォームを上尾市図書館ホームページ上に作成する。 目標：年度内に作成</p>	<p>実施状況 上尾市図書館ホームページトップページに、「調べる・相談する(レファレンス)」のバナーアイコンを作成。リンクを種類ごとに、「調べものためのリンク集」、「図書館で行っているサービス」、「上尾市についての調べもの、レファレンス」の項目に分けて、利便性の向上を図った。</p>	2 / 4
		<p>分析 計画どおり実行。しかし、ホームページの満足度の具体的な要望から、ホームページ全体の見やすさに改良を加えることが必須と思われる。</p>	

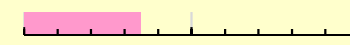
事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	<p>(1) テーマ別の資料案内の充実 主な手段：上尾市図書館ホームページ上の「調べものに役立つプラットフォーム」のコンテンツ、内容を適宜更新する。 目標：年度内に実施</p>	<p>実施状況 (1)「調べる・相談する(レファレンス)」のページに新たに「専門家・専門機関等を調べる(レフェラルサービス)」を追加した。 (2)朝日新聞クロスサーチのオプションである「全国の地域面」、「明治・大正時代の新聞データベース」等を令和4年度当初から導入した。</p>	4 / 4
	<p>(2) オンラインデータベースの機能強化 主な手段：市民の調査研究の一助とするため、朝日新聞クロスサーチ(旧名「聞蔵Ⅱ」)に新たに全国の地域面や、明治・大正時代の新聞データ等を追加する。 目標：年度当初に実施</p>	<p>分析 (1)新たなコンテンツを追加し、市民の利便性の向上を図ることができた。今後も、適宜更新し充実を図る。 (2)オンラインデータベースの機能強化により、今までカバーできていなかった地域、時代の情報をカバーすることで市民の利便性の向上に繋がった。今後は周知に力を入れていく。</p>	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	<p>(1) 郷土資料のデジタル化 主な手段：「上尾市史」等の郷土資料をデジタル化し、上尾市電子図書館内に掲載する。 目標：6月末までに始動</p>	<p>実施状況</p>	0 / 4
	<p>(2) 電子図書館サービス使い方講座の実施 主な手段：利用を促進するため使い方講座を実施する。 目標：10月末までに実施</p>	<p>分析</p>	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		<p>実施状況</p>	0 / 4
		<p>分析</p>	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		<p>実施状況</p>	0 / 4
		<p>分析</p>	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.4. ビジネス支援	35.0% (7/20)	 0% 50% 100%

方向性	特に市内のビジネス活動や研究活動の従事者、就業・起業を目指す人々の課題解決に向けた資料や情報の収集、提供を行うとともに、オンラインデータベースの紹介やリンク集の充実を図るなど、利用者が情報検索を行いやすい環境を整備します。
------------	---

事業計画の概要	自己点検評価		
令和3年度	(1) オンラインデータベースの紹介やリンク集の充実 主な手段: 他館の事例等も参考にしながら、ビジネスに有益なデータベース・リンクを収集する。 目標: ビジネスに役立つデータベース・リンク等を上尾市図書館ホームページに掲載する。	実施状況 図書館ホームページの「調べものに役立つリンク集」および「リンク集」のページに、「RESAS(地域経済分析システム)」「ハローワークインターネットサービス」のリンクを新たに掲載した。「調べものに役立つリンク集」の令和3年度アクセス数は578件。 分析 計画どおり実行。「調べものに役立つリンク集」は令和3年度578件利用された。今後も、ビジネスに役立つデータベース・リンク等の最新情報の把握に努める。また利用しやすいように改良を加えることが必須と思われる。	3 /4

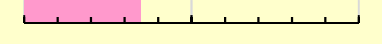
事業計画の概要	自己点検評価		
令和4年度	(1) ビジネス支援に関する資料の収集 主な手段: 3・6分類や新書など、ビジネス支援に役立つ資料の収集を行う。(請求記号335.336.670-679。令和3年度22点購入) 目標: 駅前分館でビジネス関連本を前年度比3%多く購入 (2) 電子図書館におけるビジネス支援本の購入 主な手段: ビジネス支援に役立つ資料を購入する。 目標: 年間20タイトル以上	実施状況 (1)ビジネス支援に関する資料については、駅前分館で68点購入(前年の3倍強) (2)ビジネス支援関連の電子書籍を30タイトル購入 分析 (1)駅前分館のビジネス関連本の充実については目標を大きく上回った。今後は利用者の多い大石分館のビジネス支援本の充実を図る。 (2)電子図書館においては、今後も図書館への来館が難しい人に向けて、ビジネス支援本を同等数購入する。	4 /4

事業計画の概要	自己点検評価		
令和5年度	(1) ビジネス支援に関する資料の収集【継続】 主な手段: 3・6分類や新書など、ビジネス支援に役立つ資料の収集を行う。 目標: 大石分館でビジネス関連本を前年度比3%多く購入 (2) 電子図書館におけるビジネス支援本の購入【継続】 主な手段: ビジネス支援に役立つ資料を購入する。 目標: 年間20タイトル以上	実施状況 分析	0 /4

事業計画の概要	自己点検評価		
令和6年度		実施状況 分析	0 /4

事業計画の概要	自己点検評価		
令和7年度		実施状況 分析	0 /4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.5. 子育て・教育	35.0% (7/20)	 0% 50% 100%

方向性	子育て・教育に関して市民が抱える課題の解決に向けた資料・情報の収集、提供を行うとともに、書架やフロアのレイアウトの工夫や情報端末の利用案内（使用方法等に関する説明・支援）などを積極的に行い、利用者が相談しやすい環境整備を行います。
------------	---

事業計画の概要	自己点検評価
令和3年度 (1) 子育て・教育に関する情報収集 主な手段： 子育て・教育に関する資料、情報を収集する。 目標： 子育て支援施設や公民館などのチラシ、保健センターの資料を集め、閲覧用ファイルを作成	実施状況 関係各課に子育てや教育に関する資料を調査した。子ども支援課「あげお子育てガイドブック」、保健センター「健康カレンダー」を収集し閲覧用ファイルを作成した。 3 / 4 分析 計画どおり実行。しかし、閲覧用に適している資料が少なかった。次年度は子育て・教育に関する関係部署との連携を図ることで、図書館の利用案内などを積極的に行い、利用促進に努める。

事業計画の概要	自己点検評価
令和4年度 (1) 子育て・教育に関する関係部署との連携 主な手段： 子育て支援センターと相互の職員派遣を行い、連携強化につとめる。 目標： 年度内1回、同センターでおはなし会を開催。同センター職員を講師として図書館に招き、講座等を開催。 (2) (仮) 子ども・子育て複合施設との連携体制づくり 主な手段： (仮) 子ども・子育て複合施設への絵本等を提供するとともに、相互に情報発信を行う。 目標： あっぴいぶっくの本を利用した団体貸出制度の検討と実施準備	実施状況 (1)子育て支援センターに出向き、コラボレーションによるおはなし会を年間2回開催。 (2)子ども・子育て複合施設と調整を図った結果、併設の大谷西保育所に「えほんあっぴいぶっく」を配送することとした。 4 / 4 分析 (1)子育て支援センターとの連携は計画通り実行し、図書館のおはなし会のノウハウを同センターに伝承した。 (2)子ども子育て複合施設(AGECOCO)との調整の中で図書の選定・収集などをアドバイス。大谷西保育所への「えほんあっぴいぶっく」配送につなげることができた。

事業計画の概要	自己点検評価
令和5年度 (1) 子育て・教育に関する関係部署との連携【継続】 主な手段： 子育て支援センターと相互の職員派遣を行い、連携強化につとめる。 目標： 年度2回、同センターでおはなし会を開催。同センター職員を講師として図書館に招き、講座等を開催。 (2) 誰もが本に親しめる機会の提供 主な手段： 特別な配慮を必要とする子供のための資料を「読書バリアフリーコーナー」に排架する。 目標： LLブック、さわる絵本、点字図書、大活字本などを排架	実施状況 0 / 4 分析

事業計画の概要	自己点検評価
令和6年度	実施状況 0 / 4 分析

事業計画の概要	自己点検評価
令和7年度	実施状況 0 / 4 分析

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.6. 健康・医療、福祉	25.0% (5/20)	 0% 50% 100%

方向性	健康・医療情報に関しては、専門性が高く回答制限事項となるケースも多いため、参考資料や情報の収集を図るとともに、レフェラルサービスへの展開など情報の仲介機能を高めます。また、福祉関係は、市の関係部署や地域の公共的団体との連携強化により情報の仲介機能を高めます。
------------	---

事業計画の概要	自己点検評価
令和3年度 (1) 市の関係部署との連携強化 主な手段 ：市の関係部署が発行する健康・医療、福祉に関するチラシ・リーフレット等を収集する。 目標 ：年度内に配架・閲覧の仕方の方向性を決定	実施状況 令和4年3月に市の関係部署(福祉総務課・健康増進課・高齢介護課・障害福祉課・生活支援課)が発行する冊子体の資料を収集し、今後の管理方法、収集の基準についてまとめた。 1 / 4 分析 計画通り実施。しかし、当初想定したよりも資料の数が少なく、サービスの向上には至らなかった。方策の検討を要す。

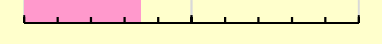
事業計画の概要	自己点検評価
令和4年度 (1) 市の関係部署との連携強化【継続】 主な手段 ：市の関係部署が発行する健康・医療、福祉に関するチラシ・リーフレット等を排架する。 目標 ：第1四半期までに実施 (2) 健康・医療、福祉に関する講座の開催 主な手段 ：健康・医療、福祉に関する講座を関係機関と連携して開催する。 目標 ：年度内に実施	実施状況 (1)上尾市健康カレンダー(健康増進課)、福祉のあらし(健康福祉部・子ども未来部)などを排架した。 (2)図書館まつり『健康講座 in 図書館～伸ばそう！健康寿命～』を健康増進課保健師、職員を講師として開催した。 4 / 4 分析 (1)計画通りに実行。行政資料として排架したところ、一定の需要を確認した。 (2)関係機関と連携し、情報の仲介機能を高めるため継続して講座の開催を実施。併せて、関係する図書資料を展示し、利用促進も行う。

事業計画の概要	自己点検評価
令和5年度 (1) 「認知症」に関する資料の収集 主な手段 ：「認知症」に関する資料3分類、4分類の収集を行う。 目標 ：年間30タイトル以上 (2) 健康・医療、福祉に関する講座の開催【継続】 主な手段 ：健康・医療、福祉に関する講座を関係機関と連携して開催する。 目標 ：10月末までに実施	実施状況 0 / 4 分析

事業計画の概要	自己点検評価
令和6年度	実施状況 0 / 4 分析

事業計画の概要	自己点検評価
令和7年度	実施状況 0 / 4 分析

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.7. 法律・司法手続き	35.0% (7/20)	 0% 50% 100%

方向性	<p>法律・司法手続き情報に関しては、専門性が高く回答制限事項となるケースも多いため、参考資料や情報の収集を図るとともに、レフェラルサービスへの展開など情報の仲介機能を高めます。また、参考図書や資料について、資料収集方針などと調整を図りながら充実に努めます。</p>
------------	---

事業計画の概要	自己点検評価	
令和3年度 (1) 法律・司法手続きに関する情報の収集 主な手段 ：データベースについて調査、研究をする。 目標 ：無料のデータベースのリンクを上尾市図書館ホームページに掲載	実施状況 図書館ホームページの「リンク集」および「調べものに役立つリンク集」のページに、「日本司法支援センター(法テラス)」「e-Gov法令検索」「裁判例検索」「日本法令索引」のリンクを新たに掲載した。	3 /4
分析 計画どおり実行。今後も、法律・司法手続きに関する役立つデータベース・リンク等の最新情報の把握に努め、適宜更新していく。また利用しやすいように改良を加えることが必須と思われる。		

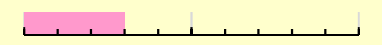
事業計画の概要	自己点検評価	
令和4年度 (1) 法律に関する資料の情報の整理 主な手段 ：本館・各分館に現行の法律知識に役立つ基本的な図書を排架する。 目標 ：年度内に実施 (2) 司法手続き等にかかわる関係各課との連携強化 主な手段 ：スムーズなレフェラルサービスを行うために、市関係各課との調整を行う。 目標 ：年度内に実施	実施状況 (1)蔵書の状況を確認し、本館56冊をはじめとして各分館でそれぞれ購入し排架した。 (2)図書館ホームページに関係各課の相談窓口等のリンクを掲載した。	4 /4
分析 (1)法律に関する資料については、知識を深めるための基本的な資料を排架。今後は図書館に関する法律情報の資料の収集を行う。 (2)関係各課との連携により、ホームページにリンクを掲載した。		

事業計画の概要	自己点検評価	
令和5年度 (1) 法律に関する資料の情報の整理【継続】 主な手段 ：読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 目標 ：上半期に特集展示 (2) 法律・司法手続きに関する講座の実施 主な手段 ：市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。 目標 ：10月末までに実施	実施状況 (1)読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 (2)市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。	0 /4
分析 (1)読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 (2)市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。		

事業計画の概要	自己点検評価	
令和6年度 (1) 法律に関する資料の情報の整理【継続】 主な手段 ：読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 目標 ：上半期に特集展示 (2) 法律・司法手続きに関する講座の実施 主な手段 ：市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。 目標 ：10月末までに実施	実施状況 (1)読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 (2)市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。	0 /4
分析 (1)読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 (2)市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。		

事業計画の概要	自己点検評価	
令和7年度 (1) 法律に関する資料の情報の整理【継続】 主な手段 ：読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 目標 ：上半期に特集展示 (2) 法律・司法手続きに関する講座の実施 主な手段 ：市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。 目標 ：10月末までに実施	実施状況 (1)読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 (2)市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。	0 /4
分析 (1)読書バリアフリー法、著作権法など図書館に関連する資料を収集し、利用者に周知する。 (2)市民生活にかかわりの深い法律に関する講座を開催する。		

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.8. 高齢者サービス	30.0% (6/20)	 0% 50% 100%

方向性	高齢者が使いやすいよう、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備と図書館資料の提供を行います。また、近年では活動的な高齢者「アクティブシニア」が増加していることから、生涯学習意欲を支援するイベントの開催や資料提供、活動環境を提供します。
------------	---

事業計画の概要	自己点検評価	
令和3年度 (1) セカンドライフコーナーの充実 主な手段：セカンドライフコーナーにアクティブシニア向けの図書資料を積極的に排架する。また情報提供のためのチラシ等を設置する。 目標：年度内に実施	実施状況 アクティブシニア向けの図書資料セカンドライフコーナー734冊(令和4年3月31日現在)中、アクティブシニア向け図書を令和3年度中に、31冊配架した。	3/4
	分析 計画どおりに実行。しかし、チラシ等の設置は管理の難しさから、検討したが排架は行わなかった。来年度は生涯学習を支援するイベントや講座を検討する。	

事業計画の概要	自己点検評価	
令和4年度 (1) アクティブシニアの生涯学習意欲を支援する講座の開催 主な手段：本に関連し、かつシニアの生涯学習を支援するためのイベント・講座を定期的に開催する。 目標：年度内2事業開催 (2) シニア向けの生涯学習情報の提供 主な手段：放送大学、公民館講座、生涯学習サークル情報など高齢者の学習意欲の向上に有益な情報の提供を行う。 目標：チラシの提供や上尾市図書館ホームページへの掲載	実施状況 (1) 図書館まつりにおいて、主にシニアに向けた講座として健康講座と、県政出前講座を利用した講座を実施した。 (2) セカンドライフコーナーにおいて、市や関係団体が作成した情報冊子を収集し、福祉・健康・介護の категорияに分けて排架した。	3/4
	分析 (1) 次年度もアクティブシニアの学習意欲を支援するため、より幅広い学習ニーズに応えられるような講座を開催する。 (2) 次年度も継続して生涯学習情報を提供できるよう、関係部署と連携・調整を図る。	

事業計画の概要	自己点検評価	
令和5年度 (1) アクティブシニアの生涯学習意欲を支援する資料の収集 主な手段：アクティブシニア向けの資料を積極的に収集する。 目標：年間30タイトル以上 (2) まちづくり講座の開催 主な手段：連続講座を開催する。 目標：年間1回開催	実施状況 	0/4
	分析 	

事業計画の概要	自己点検評価	
令和6年度 	実施状況 	0/4
	分析 	

事業計画の概要	自己点検評価	
令和7年度 	実施状況 	0/4
	分析 	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.9. 障害者サービス	25.0% (5/20)	

方向性	図書館及び図書館資料の利用が困難な人に対して、これまで実施してきた点字資料の設置や大活字本の収集、録音資料等の整備・提供、対面朗読、宅配サービスの実施のほか、図書館の利用を促進するための介助や音声機能のある電子書籍を含む資料提供など多角的な支援を実施します。また、市の関係部署との連携強化を進め、個々のニーズに適したサービス手法についても検討していきます。
------------	--

事業計画の概要	自己点検評価
令和3年度 (1) 音訳資料のリクエストの迅速な対応 主な手段 ：音訳資料で対応が難しい分野について、電子書籍での資料充実を進める。 目標 ：貸出実績の増	実施状況 利用者からのリクエストに対しては、サピエ図書館から借用する音訳資料で迅速に対応できている。貸出実績(403点)※前年度427点。令和4年6月から開始された障害者向け電子図書館サイトについては令和3年度検討はできなかった。 1 / 4 分 析 障害者向け電子図書館サイトについては、公表されている情報は少ないため、令和4年度に引き続き、有用性等について検討する。

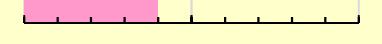
事業計画の概要	自己点検評価
令和4年度 (1) 宅配サービス利用者への情報提供 主な手段 ：宅配サービス利用者へ、新着図書案内や電子図書館など新サービスの案内を配布する。 目標 ：図書館で発行する「みんなの図書館」、各種サービス案内を発行後最も近い宅配時に配布 (2) 電子書籍の活用の検討【継続】 主な手段 ：障害者の利用に特化した電子書籍サービスについて、有用性を検討する。 目標 ：年度内に検討	実施状況 (1)令和4年4月から、配布を開始した。 (2)8・9月に電子図書館内で使用するオーディオブックについて検討し、購入に向けて予算化した。 4 / 4 分 析 (1)計画どおり実行。 (2)障害の有無にかかわらず、全ての人に読書の機会を提供する環境を整備すること、また、来館が困難な方や活字による読書が困難な方に、耳で聞く資料を提供することは継続して実施する必要がある。

事業計画の概要	自己点検評価
令和5年度 (1) 「本館読書バリアフリーコーナー」の設置及び周知 主な手段 ：特別な配慮（視覚障害、識字障害等）を必要とする子どもや大人を対象とした情報コーナーを本館に設置し、周知する。 目標 ：9月末までに実施 (2) オーディオブックの購入 主な手段 ：上尾市電子図書館内にオーディオブックを導入する。 目標 ：30冊	実施状況 0 / 4 分 析

事業計画の概要	自己点検評価
令和6年度	実施状況 0 / 4 分 析

事業計画の概要	自己点検評価
令和7年度	実施状況 0 / 4 分 析

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅱ	多様なニーズに応えるサービスの提供	計画項目別達成水準	
計画項目	2.10. 多文化サービス	40.0% (8/20)	

方向性	外国語利用案内の作成・頒布や外国語資料や情報の整備など、外国人市民の利用者が気軽に利用できる環境の整備を進めるため、市の関係部署やNPOなどとの連携体制を構築し、ニーズの把握に努めます。
------------	---

事業計画の概要	自己点検評価
令和3年度 (1) 多文化コーナーの設置 主な手段 ：多文化コーナー(仮称)に配架するための本を選定する。 目標 ：年度内に本館に多文化コーナー(仮称)を設置 (2) 外国語利用案内の整備 主な手段 ：現行の外国語利用案内について定期的に内容の確認を行い、必要に応じて修正する。 目標 ：継続的に実施	実施状況 (1) 令和4年3月に、本館2階に「多文化コーナー」を設置し、外国人市民向けの本や多文化について学ぶ本を配架した。(2) 外国語利用案内については、電子書籍の項目を追加した他、軽微な修正を行った。 4 / 4 分析 (1) 計画どおりに実行。多文化コーナーを設置した。令和3年度新規購入の13冊である。貸出回数が多い資料は、折り紙の本や日本人に向けての資料であった。(2) 計画どおり実行。次年度も必要に応じて修正を行う。

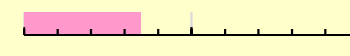
事業計画の概要	自己点検評価
令和4年度 (1) 外国籍市民等のニーズの把握 主な手段 ：関係部署等と連携し、市内在住外国籍市民のニーズの把握について検討する。 目標 ：第2四半期までに実施 (2) 「やさしい日本語」の活用 主な手段 ：「やさしい日本語」版の利用案内を作成・設置する。 目標 ：第2四半期までに実施 (3) 外国語利用案内の整備【継続】 主な手段 ：現行の外国語利用案内について定期的に内容の確認を行い、必要に応じて修正する。 目標 ：継続的な実施	実施状況 (1) 市民課・市民協働推進課に照会し、在住者の国籍割合やハローコーナーの相談傾向から、資料収集の方向性を検討。(2) 令和4年10月までに「やさしい日本語」版の利用案内を作成し、設置した。(3) 令和3年度に大幅な修正・加筆を行ったため、実施せず。 4 / 4 分析 (1) ニーズの高い文書の確認や保険・健康に関する相談など、利用しやすく、必要な情報を包括する資料の充実を図る。(2)(3)「やさしい日本語」版の利用案内及び外国語利用案内については今後も必要に応じて適宜修正する。

事業計画の概要	自己点検評価
令和5年度 (1) 多文化コーナーの充実 主な手段 ：市内在住外国籍市民の国籍割合にあわせた資料の収集を行う。 目標 ：年間10タイトル以上 (2) 外国語利用案内の整備【継続】 主な手段 ：現行の外国語利用案内について定期的に内容の確認を行い、必要に応じて修正する。 目標 ：継続的な実施	実施状況 0 / 4 分析

事業計画の概要	自己点検評価
令和6年度	実施状況 0 / 4 分析

事業計画の概要	自己点検評価
令和7年度	実施状況 0 / 4 分析

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援	計画項目別達成水準		
		35.0% (7/20)		0% 50% 100%
計画項目	3.1. 乳幼児・保護者サービス			

方向性	ブックスタート事業の推進やおはなし会等イベントの開催など乳幼児及びその保護者が本に触れ、親子の触れ合いや知識、感受性を育むきっかけづくりを支援します。また、書架やフロアのレイアウトの工夫など乳幼児及びその保護者が安心して図書館を利用できる環境づくりを行います。
------------	--

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) ブックスタート事業の推進 主な手段: 4か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、PRする。 目標: 受診者全員に絵本を配布	実施状況 (1)絵本配布数 1,463人 (2)おはなし会 6回開催。参加者数 35人 えほんのじかん 4回開催。参加者数 30人 あかちゃんおはなし会 1回開催。参加者数 7人	3/4
	(2) おはなし会等イベントの開催 主な手段: おはなしボランティアと連携を取り、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を再開する。 目標: 本館で段階的に再開	分析 (1)4か月健診時に受診者全員に絵本を配布することができた。 (2)コロナ禍の中、工夫をしながらおはなし会等を行うことができた。今後も工夫をしながら行っていく。	


事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) ブックスタート事業の推進【継続】 主な手段: 4か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、PRする。 目標: 受診者全員に絵本を配布	実施状況 (1)絵本配布数 1,473人 (2)おはなし会 80回開催/参加者数 456人 えほんのじかん 56回開催/参加者数 318人 あかちゃんおはなし会 11回開催/参加者数 156人	4/4
	(2) おはなし会等イベントの開催【継続】 主な手段: おはなしボランティアと連携を取り、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を定期開催する。 目標: 新しい生活様式に対応したおはなし会等を、本館のほか、分館でも再開	分析 (1)4か月健診時に受診者全員に絵本、ブックリスト、及びあかちゃんおはなし会のチラシを配布することができた。 (2)新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限をしながら、工夫して実施した。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) ブックスタート事業の推進【継続】 主な手段: 4か月検診時に絵本と赤ちゃん向けのブックリストを渡す。あかちゃんおはなし会のチラシを配布し、PRする。 目標: 受診者全員に絵本を配布	実施状況	0/4
	(2) おはなし会等イベントの開催【継続】 主な手段: おはなしボランティアと連携を取り、おはなし会、えほんのじかん、あかちゃんおはなし会を定期開催する。 目標: 新しい生活様式に対応したおはなし会等を、本館のほか、分館でも再開	分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況	0/4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況	0/4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援	計画項目別達成水準		
		40.0% (8/20)		0% 50% 100%
計画項目	3.2. 児童サービス			

方向性	子供の発達段階に合わせた図書・資料を整備するとともに、SNSやICT技術等の活用も検討します。また、児童の読書習慣や本への興味を高める読み聞かせやおはなし会その他「読書パスポート」を活用した事業などを積極的に展開します。
------------	--

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 読書パスポートを活用した事業 主な手段: 読書パスポートの説明動画を作成する。読書パスポートコンクールを開催する。 目標: 説明動画の作成。市内小学校への配布。あげtubeで配信。市内全小学校の読書パスポートコンクールへの参加 (2) おはなし会等児童向けイベントの開催 主な手段: おはなし会等の児童向けイベントの開催 目標: 新しい生活様式に対応したおはなし会や夏休み事業、クリスマス会などを開催	実施状況 (1)説明動画を作成し、市内小学校へ配布。あげtubeで配信。読書パスポートコンクール表彰者数140人 (2) おはなし会参加者数 35人、えほんのじかん参加者数30人、あかちゃんおはなし会参加者数7人、体験図書館員参加者数 12人、クリスマス会参加者数20人	4 / 4
	分析 コロナ禍の中、直接小学校での読書パスポートの説明ができなかったが、説明動画を作成し、あげtubeで配信するなど工夫をして行うことができた。 児童向けイベントは工夫をして行うことができた。		


事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 読書パスポートを活用した事業【継続】 主な手段: 小学校で読書パスポートの説明を行う。読書パスポートコンクールを開催する。 目標: 市内全小学校が読書パスポートコンクールへ参加 (2) おはなし会等児童向けイベントの定期開催【継続】 主な手段: おはなし会等の児童向けイベントを開催する。 目標: 新しい生活様式に対応したイベント・事業 年10回	実施状況 (1)読書パスポート配布数 1,768人 読書パスポートコンクールには、市内全小学校が参加。 (2)おはなし会参加者数 456人、えほんのじかん参加者数318人、あかちゃんおはなし会参加者数 156人、体験図書館員参加者数 12人、クリスマス会参加者数 20人	4 / 4
	分析 (1)小学校に出向き、読書パスポートの説明と配布、絵本の読み聞かせを行った。本の興味を高め、読書習慣を身につけるため、引き続き読書パスポートを活用していく。 (2)新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ柔軟に開催を検討し、子供の読書活動を推進する。		

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) 読書パスポートを活用した事業【継続】 主な手段: 小学校で読書パスポートの説明を行う。読書パスポートコンクールを開催する。 目標: 市内全小学校が読書パスポートコンクールへ参加 (2) おはなし会等児童向けイベントの定期開催【継続】 主な手段: おはなし会等の児童向けイベントを開催する。 目標: 新しい生活様式に対応したイベント・事業 年10回	実施状況 	0 / 4
	分析 		

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度	 	実施状況 	0 / 4
	分析 		

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度	 	実施状況 	0 / 4
	分析 		

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援	計画項目別達成水準		
		40.0% (8/20)		0% 50% 100%
計画項目	3.3. 青少年サービス			

方向性	読書離れと言われる青少年世代が本に興味を持ち、知的活動をさらに飛躍させるためのSNSや電子書籍などICT技術の活用、ブックトーク、ビブリオバトルなどのイベント開催といった図書館利用促進に向けた仕組みづくりを進めます。また、ラーニングコモンズのようなグループワーク向けのスペースの設置など、将来の社会の担い手を支援する学び・交流の場の提供を検討します。
------------	---

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 青少年向け電子書籍の収集 主な手段: 青少年をターゲットにした電子書籍を収集する。 目標: 電子書籍全体の1割	実施状況 「ティーンズ」向けのコレクションとして電子書籍83点を購入した。電子書籍全体の購入数712点に対し、11.6%を達成した。	4/4
		分析 計画通り実施。青少年に限定したモニタリング結果から、電子図書館を利用したことがない人がほとんどで、今後は周知の強化が求められる。ジャンルとしては小説・エッセイの要望が高かったため、選書の参考とする。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 青少年向け電子書籍の収集【継続】 主な手段: 引き続き、青少年をターゲットにした電子書籍を収集する。 目標: 電子書籍全体の1割 (2) 青少年向け図書リスト・啓発資料を配布【継続】 主な手段: 市内中学校を通じて「ネクストジェネレーション」を全中学生に配布する。 目標: 年3回 (3) 市内高校との連携 主な手段: 高校との連携に向けたイベントの開催。 目標: 年1回	実施状況 (1) 青少年向け資料として68点(電子書籍全体の10.6%)購入した。 (2) 年3回発行、市内中学校を通じて全中学生に配布した。 (3) 図書館まつりで、「ティーンズ読書会 60分de名著」を開催し、上尾高校の生徒が参加した。	4/4
		分析 (1) 青少年向け電子書籍については計画どおり収集した。 (2)(3) 図書リスト等の配布、市内の中・高校との連携に向けたイベントについても同様に実施。今後も「ネクストジェネレーション」を定期的に全中学生に配布するとともに、市内の中・高校との連携についても継続事業として通例化する。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) 青少年向け図書リスト・啓発資料を配布【継続】 主な手段: 市内中学校を通じて「ネクストジェネレーション」を全中学生に配布する。 目標: 年3回 (2) 市内中・高校との連携 主な手段: 中学校、高校との連携のためにに向けたイベントの開催 目標: 年1回	実施状況 0/4	0/4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況 0/4	0/4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況 0/4	0/4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援	計画項目別達成水準	
計画項目	3.4. 子供の読書活動支援	30.0% (6/20)	

方向性	子どもの読書活動支援センターの積極的な事業展開により、『上尾市子どもの読書活動推進計画』（あげお子ども読書プラン）に基づき、家庭・地域・学校と図書館が一体となって、子供の読書活動の推進を図ります。
------------	--

事業計画の概要	自己点検評価
令和3年度 (1) 家庭・地域への支援 主な手段 ：保護者が絵本を選ぶきっかけにするために、絵本の紹介を行う。 目標 ：絵本を紹介するチラシの定期的な作成・配布、ツイッターでの公開 (2) 学校への支援 主な手段 ：「学校の授業をきっかけに、読書が広がる本のセット」を定期的に学校に配送する。 目標 ：モニター校の設置、セットの配送	実施状況 (1)本館1階ロビーに絵本のチラシを作成、配布した。本館の情報を発信する準備をした。 (2)モニター校を4校選定し、教科書の単元をキーワードに集めた本のセットを各校2回配送。利用校にアンケートを行い、予算化につなげた。 分析 計画どおり実行。学校からのアンケートによれば、「本が古かった」「連想マップが分かりにくかった」「貸出期間が短かった」との意見があったため、次年度の運用で改善していく。
	3/4

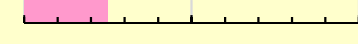
事業計画の概要	自己点検評価
令和4年度 (1) 家庭への支援 主な手段 ：保護者が子育てに絵本を取り入れるための講座開催や新しい絵本のリストの配布 目標 ：保護者向け講座 1回、絵本リスト年12回配布 (2) 地域への支援 主な手段 ：読み聞かせボランティアの資質向上支援、情報提供 目標 ：ステップアップ講座の開催1回 絵本リスト年2回配布 (3) 学校への支援 主な手段 ：「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」事業の実施 目標 ：本のセットの選書・購入、学校への配送	実施状況 (1)絵本の良さを紹介するため「えほんセラピー」開催及び絵本リスト4回配布。 (2)富士見小学校保護者読み聞かせボランティアへの指導及び絵本リスト2回配布 (3)3種類各5セット購入し15校が活用。あわせて同セットを図書館・分館・公民館図書室に展示し、一般公開した。 分析 (1)(2)(3)家庭への支援策は未達であったが、地域・学校に対する支援を概ね計画どおり実行。アンケート結果は概ね好評であった。また、来年度に向けて新規の3種類のセット作成について予算を確保した。
	3/4

事業計画の概要	自己点検評価
令和5年度 (1) 家庭への支援 主な手段 ：保護者が子育てに絵本を取り入れるための講座開催や新しい絵本のリストの配布 目標 ：保護者向け講座 1回、絵本リストの配布 (2) 地域への支援 主な手段 ：読み聞かせボランティアの資質向上支援、情報提供 目標 ：ステップアップ講座の開催1回 絵本リスト年2回配布 (3) 学校への支援 主な手段 ：「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」事業の拡充 目標 ：18セットから36セットに拡充	実施状況 分析
	0/4

事業計画の概要	自己点検評価
令和6年度	実施状況 分析
	0/4

事業計画の概要	自己点検評価
令和7年度	実施状況 分析
	0/4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援	計画項目別達成水準		
		25.0% (5/20)		0% 50% 100%
計画項目	3.5. 若者の自立支援			

方向性	若者世代の就学・就業やボランティアなど、その他地域交流活動の情報・資料を収集、提供するとともに、図書館で気軽に学習できる機会・環境を整備します。また、この世代の情報収集手段がインターネット等によることが多いことから、有用なオンラインデータベースの紹介やリンク集の充実を進めます。
------------	---

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 若者世代に対する情報提供 主な手段 ：関係各課と調整し、情報を提供する。 目標 ：関係チラシ等を集め、情報提供をする。	実施状況 読書振興協議会が発行する「若い人に贈る読書のすすめ」を本館YYコーナーに設置した。今後も、若者世代向けの情報があれば随時配置する。	1 / 4
	分析 青少年課等関係各課の情報を調査したが、適当と思われるチラシがなく、計画通り実施できなかった。次年度はチラシの提供を目標とせず、若者の自立支援に関する図書資料を強化することで若者の自立を支援する。		


事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 進路や社会生活に関する資料の収集 主な手段 ：青少年向けの、進路や社会生活に関する資料を収集する。 目標 ：年間で15点の資料の収集	実施状況 20冊購入(3分類『大人になるってどういうこと?』、5分類『自炊のトリセツ』など)	4 / 4
	分析 令和4年7月発行「ネクストジェネレーション」で自立の一助となる本を特集し、YYコーナーにて特集展示(122冊)を行った。次年度は、障害のある青少年向けの進路や社会生活に関する資料を収集し自立支援に役立てる。		

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) 読書バリアフリーコーナーに障害のある若者の自立に関する本の収集 主な手段 ：障害のある青少年向けの、進路や社会生活に関する資料を収集する。 目標 ：LLブックの収集	実施状況	0 / 4
	(2) 駅前分館に青少年向け資料の収集と配架 主な手段 ：若者に立地の良い、駅前分館に青少年コーナーを整備する。 目標 ：10月までにコーナーを設置	分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況	0 / 4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況	0 / 4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援	計画項目別達成水準	
計画項目	3.6. 学習活動の支援	40.0% (8/20)	 0% 50% 100%

方向性	図書館の利用を促進し、図書館資料、地域情報その他市民の知的活動の支援を目的とした講座や相談会、展示会等のイベントを開催します。また、公民館など市の関係部署とも連携しながら生涯学習に関する情報提供に努めます。
------------	---

事業計画の概要	自己点検評価
令和3年度 (1) 知的活動の支援 主な手段 ：知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また公民館等社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 目標 ：継続的に実施	実施状況 秋の読書週間(10/27～11/9)に合わせて本や図書館に親しむ講座や展示、イベントなどを、図書館まつりとして実施した。 実施事業：8事業、参加者：一般 104人、幼児・児童 89人 あげTube「パースデーケーキをつくろう」 閲覧数：361回(令和4年3月18日現在) 分析 埼玉県立近代美術館と連携した「近代美術館スライドトーク モネとピカソのひみつ」のアンケート結果からは「コロナ禍で美術館にもなかなか行けない。図書館で美術品に触れられ良かった」との意見があった。社会教育施設との連携は有意義であったと考える。 4 / 4


事業計画の概要	自己点検評価
令和4年度 (1) 知的活動の支援【継続】 主な手段 ：知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また県内博物館や美術館、市内公民館等、社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 目標 ：社会教育施設2施設以上と連携したイベント実施	実施状況 図書館まつりで以下の連携講座を2事業実施した。 ○さきたま史跡の博物館コラボ「埼玉は持っている！ 国宝と古墳」講師 同博物館学芸員 参加者14人 ○埼玉県立近代美術館コラボ企画「近代美術出張館スライドトーク ピカソのひみつ」講師 同美術館職員 参加者15人 分析 計画通り実行。社会教育施設等と連携(MLA連携)することで図書館単体では提供できなかった質の高い学びを提供できると考える。 4 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和5年度 (1) 知的活動の支援【継続】 主な手段 ：知的好奇心を喚起する講座や展示の企画実施。また県内博物館や美術館、市内公民館等、社会教育関連施設と連携したイベント開催や情報の提供を行う。 目標 ：社会教育施設2施設以上と連携したイベント実施 (2) 公民館講座に関する図書館からのおすすめ本リスト作成 主な手段 ：公民館講座に関する図書館からのおすすめ本リストを作成、提供をする。 目標 ：毎月作成、提供を行う。(講座開催なしの月は除く)	実施状況 分析 0 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和6年度	実施状況 分析 0 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和7年度	実施状況 分析 0 / 4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援	計画項目別達成水準		
		40.0% (8/20)		0% 50% 100%
計画項目	3.7. 情報活用能力向上支援			

方向性	情報社会における課題解決や情報リテラシー獲得・向上の支援として、ICT等の活用や理解に役立つ情報の提供、利用案内、講座を開催します。特にデジタルデバイドの解消については、職員の知識・技能の向上と併せて積極的に取り組みます。
------------	---

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) ICT等の活用や理解に役立つ講座の実施 主な手段 ：企業等と連携し、ICT等の活用や理解に役立つ講座を開催する。 目標 ：年度内に開催	実施状況 日経テレコン21とナクソス・ミュージック・ライブラリーについて、11月にそれぞれ運営会社を招いて操作方法等の講座を開催した。日経テレコン21 2回開催 参加人数 14人 ナクソス・ミュージック・ライブラリー 2回 参加人数 17人	4 / 4
		分析 計画どおり実行。しかし講座参加人数が少なかった。講座参加時のアンケートでは、参加者のうち、8割強が「良い」と答えたので、引き続き実施するとともに周知に努める。	

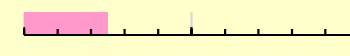
事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) ICT等の活用や理解に役立つ講座の実施【継続】 主な手段 ：企業等と連携し、ICT等との活用や理解に役立つ講座を引き続き開催する。 目標 ：オンラインデータベース（朝日新聞クロスサーチ（旧「聞蔵Ⅱ」））、日経テレコン21、ナクソス・ミュージック・ライブラリー）活用講座の実施	実施状況 オンラインデータベースについて、11月に各運営会社を招いて操作方法等の講座を各2回開催した。 ・朝日新聞クロスサーチ：参加7人 ・日経テレコン21：参加11人 ・ナクソス・ミュージック・ライブラリー：参加4人	4 / 4
		分析 計画どおり実行。講座参加人数は昨年度より少なかったが、アンケートでは高評価を得た。新たな参加者を開拓するため、引き続き周知・実施方法等の改善を図る。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) ICT等の活用や理解に役立つ講座の実施【継続】 主な手段 ：企業等と連携し、ICT等との活用や理解に役立つ講座を引き続き開催する。 目標 ：オンラインデータベース（朝日新聞クロスサーチ（旧「聞蔵Ⅱ」））、日経テレコン21、ナクソス・ミュージック・ライブラリー）活用講座の実施	実施状況	0 / 4
	(2) 電子図書館サービス使い方講座の実施 主な手段 ：利用を促進するため使い方講座を実施する。 目標 ：10月末までに実施	分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況	0 / 4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況	0 / 4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅲ	市民の学びと活動の支援	計画項目別達成水準		
		25.0% (5/20)		0% 50% 100%
計画項目	3.8. ボランティア活動支援			

方向性	ボランティア活動の生涯学習の側面を踏まえて、図書館サービスの充実に欠かすことのできない読み聞かせや、音訳その他の活動を積極的に支援するとともに、図書館サービスに係わるボランティア活動の機会や場所の提供など、協働して事業を実施するパートナーとして友好的協力体制の構築に努めます。また、研修会を開催するなど後継者となり得る新たな意欲あるボランティアへの参加者を育成していきます。
------------	---

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 新しい生活様式に対応したボランティア活動支援 主な手段 ：あげTUBEを利用したボランティアの活躍の場を設ける。 目標 ：年度内に実施	実施状況 分 析	3/4
	(2) 既存のボランティアへの活動の場の提供 主な手段 ：コロナ禍で感染症拡大防止に留意した図書館まつりを開催する。 目標 ：10月下旬～11月上旬の実施		

事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 新しい生活様式に対応したボランティア活動支援【継続】 主な手段 ：あげTUBEを利用したボランティアの活躍の場を設ける。 目標 ：年度内に実施	実施状況 分 析	2/4
	(2) 既存のボランティアへの活動の場の提供【継続】 主な手段 ：コロナ禍で感染症拡大防止に留意した図書館まつりを開催する。 目標 ：10月下旬～11月上旬の実施		

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) 新しい生活様式に対応したボランティア活動支援 主な手段 ：あげTUBE、デジタルサイネージなどを利用してボランティアの活躍や紹介の場を設ける。 目標 ：年度内に実施	実施状況 分 析	0/4
	(2) 既存のボランティアへの活動の場の提供【継続】 主な手段 ：コロナ禍で感染症拡大防止に留意した図書館まつりを開催する。 目標 ：10月下旬～11月上旬の実施		

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況 分 析	0/4

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況 分 析	0/4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備	計画項目別達成水準	
計画項目	4.1. 学習活動環境の整備	30.0% (6/20)	

方向性	学習活動の支援につながる学習席等の増設のほか、家庭でも職場・学校でもない第3の居場所「サードプレイス」としての役割を担えるよう、レイアウト変更など交流機能を含めた空間構築と環境整備を進めます。また、学びと活動の循環を生み出す地域住民の交流拠点として、市の関係部署と連携して事業を積極的に進めます。
------------	--

事業計画の概要	自己点検評価
令和3年度 (1) レイアウト変更等による学習環境の整備 主な手段: 本館のレイアウトの一部変更により、スペースを有効活用して、特に若年層向けの学習席を増設する。 目標: 5席程度の増 (2) 学習環境の提供 主な手段: 定期テスト前などの17時から19時、学習席を中・高校生専用に開放する。 目標: 2学期からの実施	実施状況 (1)新聞コーナー及びセカンドライフコーナーを移動し、1階ロビー東側に学習席を8席設置。 (2)「自主勉強タイム」として、テスト前に中・高校生専用に集会室を開放するイベントを企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は実施を見送った。 分析 (1)計画通り実施。しかし、スペースを一部余らせてしまったので、令和4年度はレイアウト等を考え直し、より良い学習環境の整備が必要。 (2)実施なし。モニタリング結果から学習スペースの要望も多く見られたため、引き続き実施を検討する。
	3/4

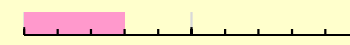
事業計画の概要	自己点検評価
令和4年度 (1) レイアウト変更等による学習環境の整備【継続】 主な手段: 新規で机及び椅子を設置し、学習席の増設を行う。 目標: 計8席程度 (2) 図書館内でグループワーク等のできる環境整備 主な手段: 学習席の一部をグループワーク等の交流の場として開放する。 目標: 年度内に実施	実施状況 (1)本館に昨年度学習席として設置した既存の長テーブルを撤去し、個別に仕切られた学習机と椅子を新調した。(8席→12席) (2)(1)で設置したプライベートスペースの学習席とは別に、一対の机と椅子を3席設置した。 分析 (1)モニタリング調査で、まだ席数の不足の声が多くあることから、今後も更なる学習スペースの拡大に向けた工夫が必要である。 (2)交流の場としての機能までは満たせなかったが、少人数での利用が可能な座席スタイルは一步前進であると考えられる。
	3/4

事業計画の概要	自己点検評価
令和5年度 (1) 館内空間を利用した学習機会の創出 主な手段: 本館集会室等を利用し、他部署との連携も視野に入れた学習イベントを開催する。 目標: 令和5年度中に実施 (2) 学習環境の整備 主な手段: 既存の机や椅子の配置を変更し、学習席の増設を行う。 目標: 令和5年9月末までに実施 (4席程度)	実施状況 分析
	0/4

事業計画の概要	自己点検評価
令和6年度	実施状況 分析
	0/4

事業計画の概要	自己点検評価
令和7年度	実施状況 分析
	0/4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備	計画項目別達成水準	
		30.0% (6/20)	 0% 50% 100%
計画項目	4.2. 運営		

方向性	市民が安心して利用できるよう図書館資料と情報の安定した管理体制を維持するとともに、ICT設備の導入などによる効率的な図書館運営を進めます。また、良質な図書館サービスを提供するための効率的かつ効果的な運営手法について調査・研究を進め、業務委託内容の見直し等も含め、今後のさらなる改善につなげます。
------------	---

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 図書館業務のさらなる委託化 主な手段 ：窓口業務を長期継続契約とし、改善に繋がるよう仕様を変更することで民間活力導入効果を促進する。 目標 ：仕様書改訂箇所10項目以上	実施状況 長期継続契約の締結により、委託料の削減を実現するとともに、安定した窓口サービスの提供が実現できた。仕様書については、新型コロナウイルス感染拡大防止策の資料清掃業務等を追加し、10項目以上の改訂を行った。	3/4
		分析 コロナ禍において、安定的な開館を継続できたことは評価に値する。また、モニタリング結果から窓口業務の満足度は高く、これについても評価できる。民間活力導入に関しては画期的な展開が図れなかったため、次年度取り組んでいく。	

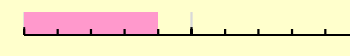
事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 委託業者の更なる活用 主な手段 ：窓口業務の委託業者による民間ノウハウを生かした新たな事業の実現を図る。 目標 ：新規イベントの実現1事業	実施状況 (1)図書館まつりでは、窓口業務の委託業者による分館・公民館図書室の紹介のパネル展示を実施。 (2)政策企画提案制度の利用を見込んで2案の計画を策定。 ①自動貸出機 ②デジタルサイネージ	3/4
	(2) ICT設備の導入に向けた計画策定 主な手段 ：ICT設備未導入の施設において、図書館更新計画にあわせ、導入に向けた計画案を策定する。 目標 ：計画案3案策定	分析 (1)本館の利用者に対し、分館・公民館図書室について現地スタッフの視点でPRし、それぞれの魅力を発信することができた。 (2)②は上記制度の採用により今後具体的運用を進める。①は導入には至らなかったが、モニタリング調査の結果からも要望は多くあることから引き続き導入に向けての検討を継続する。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) ICTを活用した新たな情報発信 主な手段 ：デジタルサイネージ導入を見据えた新たな情報発信ツールを活用し館内の利用案内やイベントスケジュール、日々の新着情報をアナウンスする。 目標 ：図書館本館来館者数前年度比1割増	実施状況	0/4
	(2) 図書館システムの更改 主な手段 ：現在稼働中の図書館システムの更新時期に合わせて、より利用しやすいシステムの導入に向けた仕様書を作成する。 目標 ：年度末までに作成（関係業者3社から実機検証を行う）	分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況	0/4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況	0/4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備	計画項目別達成水準	
		40.0% (8/20)	 0% 50% 100%
計画項目	4.3. 職員体制		

方向性	図書館職員については、図書館運営が安定して継続的に行えるよう、現行制度の中で、専門知識を持った司書有資格者や行政全般にわたり知識と経験のある職員の配属を可能な限り進めるとともに、各職員の技能向上を積極的に推進します。
------------	--

事業計画の概要		自己点検評価	
令和3年度	(1) 司書及び専門技能の有資格者配置推進 主な手段： 配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持する。 目標： 司書等技能取得者比率50%以上（会計年度任用職員含む）	実施状況 (1)今年度、新規に司書有資格者を1人確保。また配属職員の司書等技術取得者50%以上を達成。 (2)著作権、児童サービス、青少年サービス等に関連する研修に参加。今年度24名実施。	4 / 4
	(2) 図書館専門技能講習等への派遣、受講 主な手段： 著作権やレファレンス、その他サービスに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣する。 目標： 10名以上	分析 (1) 司書有資格者及び技能取得者61.9%（会計年度任用職員含む）を達成。 (2) コロナ禍によりオンライン研修が増えたが、積極的に研修に参加し、知識・技能向上に努めた。	

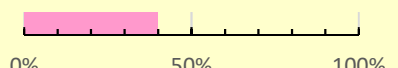
事業計画の概要		自己点検評価	
令和4年度	(1) 司書及び専門技能の有資格者配置推進【継続】 主な手段： 配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持する。 目標： 司書等技能取得者比率50%以上（会計年度任用職員含む）	実施状況 (1)今年度、配属職員の司書等技術取得者50%以上を達成。 (2)著作権、児童サービス、青少年サービス等に関連する研修に参加（参加人数延べ45名）。	4 / 4
	(2) 図書館専門技能講習等への派遣、受講【継続】 主な手段： 著作権やレファレンス、その他サービスに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣。また、研修内容を館内職員研修へ反映し、職員全体の資質向上を図る。 目標： 派遣者10名以上	分析 (1)司書及び専門技能を有する職員が適正に配置されたことにより、著作権法やレファレンス等に係る市民対応を適切に行った。 (2)研修へ積極的に参加し、目標を達成した。次年度も適切に派遣研修やOJTを実施することが望ましいと考える。	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和5年度	(1) 司書及び専門技能の有資格者配置推進【継続】 主な手段： 配置要望の継続的な実施と技能取得の推奨により、適正な職員配置を維持する。 目標： 司書等技能取得者比率50%以上（会計年度任用職員含む）	実施状況	0 / 4
	(2) 図書館専門技能講習等への派遣、受講【継続】 主な手段： 著作権やレファレンス、その他サービスに関する知識・技能向上のための研修に職員を積極的に派遣。また、研修内容を館内職員研修へ反映し、職員全体の資質向上を図る。 目標： 派遣者10名以上	分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和6年度		実施状況	0 / 4
		分析	

事業計画の概要		自己点検評価	
令和7年度		実施状況	0 / 4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備	計画項目別達成水準	
計画項目	4.4. 施設・設備	40.0% (8/20)	

方向性	現在の図書館網を可能な限り維持し、各地域の住民にとって利便性の高い全域サービスの展開に努めます。また、老朽化が進む施設については、利用者が安心・安全に利用できる水準の確保を第一に考えて必要な措置を講じます。その上で、施設の改修や図書館網の整理等については、市の公共建築物の計画の中で公共施設マネジメントとの整合性を図りながら取り組んでいきます。
------------	--

事業計画の概要	自己点検評価		
令和3年度	(1) 上尾市公共建築物管理実施計画の実行 主な手段: 施設の老朽化対策について、実施計画に沿って、モデルケースの選定とケース別シナリオの作成を行う。 目標: 年度内に完了	実施状況 (1) 図書館本館の老朽化に対し、3つのモデルケースを選定し、それぞれのモデルケースのコストシミュレーション、シナリオの作成を行った。 (2) 既存施設の工事・修繕による維持保全についても、年間14件の発注を行い、維持保全に努めた。	4 /4
	(2) 施設の安心安全及び利便性確保 主な手段: 維持保全等工事・修繕の適切な履行 目標: 工事又は修繕5箇所以上	分析 (1) 今後は作成したシナリオを基に、庁内調整や議会説明を経て、コンセンサスを得ていく必要があるため、対内外的な説明資料等の作成に努める必要がある。 (2) 施設の安全性・利便性は、不良箇所の修復、LED化等を通じてより一層向上していく必要がある。	


事業計画の概要	自己点検評価		
令和4年度	(1) 上尾市公共建築物管理実施計画の実行【継続】 主な手段: 選定した複数のモデルケースについて庁内調整を実施し、市民説明用資料を作成する。 目標: 年度内に完了	実施状況 (1) 確立した3つのモデルケースについて庁内のコンセンサスを得た。また、次年度の市民ワークショップに向け、市民説明用の基礎資料を作成した。 (2) すべての図書館の照度測定を完遂。そのうえで、照度の低い箇所を選定し、照明器具29基(34灯)のLED化を図った。	4 /4
	(2) 修繕の履行及びLED照明器具設置による維持管理 主な手段: 各分館の照明の照度を測定し、照度の低い箇所よりLED化を図る。 目標: 2施設/年間以上の照明の照度測定、照明器具5基/年以上のLED化	分析 (1) 対外的なコンセンサスを得るため、市民説明資料やワークショップをブラッシュアップし、市民と共に本館の更新計画の策定に向けて取り組む必要がある。 (2) LED化により、照度の確保と省エネに繋がった。 使用電力量: 260,023kw/h(R3)→246,532kw/h(R4)	

事業計画の概要	自己点検評価		
令和5年度	(1) 上尾市公共建築物管理実施計画の実行【継続】 主な手段: ワークショップおよびパブリックコメントによる図書館本館更新方針における市民意見聴取の実施。 目標: 年度内に方針(案)を作成	実施状況	0 /4
	(2) 老朽化設備の更新・修繕 主な手段: 各館の老朽化の著しい機械・電気設備の利便性の向上を図ることを目的に設備の更新・修繕を図る 目標: 3箇所/年以上の更新・修繕	分析	

事業計画の概要	自己点検評価		
令和6年度		実施状況	0 /4
		分析	

事業計画の概要	自己点検評価		
令和7年度		実施状況	0 /4
		分析	

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括

基本方針Ⅳ	時代に合わせた環境整備	計画項目別達成水準	
		40.0% (8/20)	 0% 50% 100%
計画項目	4.5. 安全管理		

方向性	事故、災害その他の非常事態による被害を防止するため、危機管理の手引書を作成し、定期的な訓練を実施します。また、防災上及び衛生上の設備点検については、法令その他の規定に基づき点検を実施し、安全確保に努めます。
------------	---

事業計画の概要	自己点検評価
令和3年度 (1) 避難訓練の実施及び手引書の作成 主な手段 ：消防計画等を見直し、避難訓練の実施する。その後手引書等を整備する。 目標 ：本館、瓦葺分館 (2) サーマルカメラの設置 主な手段 ：新型コロナウイルス感染症まん延防止策として、図書館入口にサーマルカメラを設置する。 目標 ：本館及び5分館に設置	実施状況 (1) 消防計画の内容について、精度の高い内容に修正を行い、所管施設各館について適切な訓練を実施した。また、より訓練参加者が訓練中の動きを把握できるよ手引書等を整備した。 (2) サーマルカメラも6台設置し、新型コロナウイルス感染症まん延防止策として施した。 分析 (1) より精度の高い訓練の実現が図れた。今後も一層精度の高い訓練や手引書の作成に努める必要がある。 (2) 設置による更なる新型コロナウイルス感染防止対策が図れたが、季節により異常値が検出されるため適切な運用の確立が今後の課題である。
	4 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和4年度 (1) 法定点検等の履行による事故・災害の防止 主な手段 ：法令に基づいた防災上、安全確保並びに衛生環境保持を目的とする点検を実施する。 目標 ：法定点検の履行及び点検結果に基づいた指摘箇所の改善 (2) 防災面の強化及び安全性の向上 主な手段 ：避難訓練手引書等の見直し及び図書館各館の消防点検・避難訓練等を実施する。 目標 ：消防点検1回/年以上の履行、避難訓練又は消防に関する研修の1回/年以上の実施	実施状況 (1) 建築基準法、消防法、フロン排出抑制法に基づく点検を実施した。また、本館誘導灯のバッテリー不良について適切に交換作業を行った。 (2) 本館、瓦葺分館において最新の手引書に従い避難訓練を実施した。同様に年1回の消防設備点検も履行した。 分析 (1) 指摘箇所については優先度を見極め随時改修をしているが、老朽化する各施設の不具合は日々発生しているため、優先順位を精査し順次対応する必要がある。 (2) 訓練実施時に、消防器具についての研修を実施。普段関わらない設備を知る機会であり今後も継続する必要がある。
	4 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和5年度 (1) 法定点検等の履行による事故・災害の防止【継続】 主な手段 ：法令に基づいた防災上、安全確保並びに衛生環境保持を目的とする点検を実施する。 目標 ：法定点検の履行及び点検結果に基づいた指摘箇所の改善 (2) 防災面の強化及び安全性の向上【継続】 主な手段 ：図書館各館の消防点検と、最新の手引書に基づいた避難訓練を実施する。 目標 ：消防点検1回/年以上の履行、避難訓練又は消防に関する研修の1回/年以上の実施、問題点の改善	実施状況 分析
	0 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和6年度	実施状況 分析
	0 / 4

事業計画の概要	自己点検評価
令和7年度	実施状況 分析
	0 / 4

【計画期間評価】 ※令和3(2021)年度～令和7(2025)年度の総括
